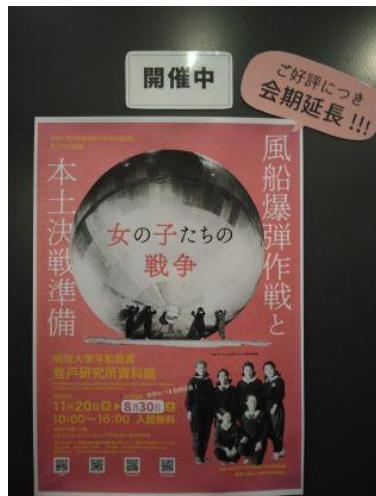


鷺宮高校 社会科FW・活動通信 Vol.35(2025. 7月)

社会科同好会編㉖ 「明治大学平和教育 登戸研究所資料館見学」

2025年7月19日(土)、昨年に引き続き、明治大学生田キャンパス内にある「明治大学平和教育 登戸研究所資料館」を生徒2名+社会科教員3名で見学しました。パンフレットには、「登戸研究所は、戦前に旧日本陸軍によって開設された研究所です。ここでは防諜(スパイ活動防止)・諜報(スパイ活動)・謀略(破壊・かく乱・暗殺)・宣伝(人心の誘導)のためのさまざまな秘密戦兵器が開発されました。」、「…私たちはこうした戦争の暗部ともいえる部分を直視し、戦争の本質や戦前の日本軍がおこなってきた諸活動の一端を、冷静に後世に語り継いでいく必要があります。」と書かれています。

「日本の戦争加害」について考えられる、貴重な施設を明治大学がきちんと保存し資料館として管理していること、案内ガイドの方の説明が丁寧で分かりやすいこと、そして無料で公開されていること…すばらしいです。2023年から導入された新作アニメーション(見学前・後に視聴)が、当時の研究所員たちが経験した「秘密戦」(防諜・諜報・謀略・宣伝)の特殊さを考えさせる内容で、ぜひ見学前に見ることをおすすめします。



なぜ高い場所にあるのか、それは電波兵器の実験・開発のため…

《 各展示室の主な内容 》

第1展示室:登戸研究所の活動の全体像と歴史

第2展示室:風船爆弾や電波兵器など、主に物理学を利用した兵器を開発した第一科の活動内容

第3展示室:化学を応用した生物化学兵器やスパイ用品などを開発していた第二科の活動内容

第4展示室:主に中国大陸で展開された経済謀略活動のために偽札を製造していた第三科の活動内容

第5展示室:本土決戦体制下の登戸研究所と所員の戦後などについて

暗室:当時の実際の暗室の様子を再現



弥心神社や非常に大きな動物慰靈碑、陸軍のマーク入り消火栓などもあります